

会 議 録

日 時	平成29年3月16日(木) 午後4時00分～午後5時28分	場 所	日新館 市民ホール
会 議 名	平成28年度 第5回矢島まちづくり協議会		
出 席 者	別添 出席者一覧のとおり		

案 件 及 び 会 議 内 容

1. 開会

【小松正振興課長】

只今から矢島まちづくり協議会を開催いたします。

2. あいさつ

【小松正振興課長】

本日は、お忙しい所、ご出席頂きまして誠に有り難うございます。私は振興課の小松でございます。宜しく願いいたします。本日は、総合支所職員のほか、報告事項説明の為、本庁の担当の各部局の職員が同席しておりますので宜しく願いいたします。それでははじめに、矢島まちづくり協議会会長、佐藤久美様から、ご挨拶を頂くところですが、本日、諸事情で、後で合流いたしますので代わりまして菅原副会長よりお願い致します。

会長あいさつ

【菅原賢一副会長】

本日は年度末ということで皆様方には、何かとお忙しいところ、ご出席を頂きまして、誠に有り難うございました。佐藤会長が少し遅れるということですので代わりまして、私の方から一言ご挨拶を申したいと存じます。平成27年度8月に市の方から委嘱を受けまして、地域の協議、課題解決や活性化に向ける為に、それぞれ振興建設部会、そして、福祉教育部会、産業部会の3つの部会を設けて、矢島地域の現状の把握や将来像を話し合い、10年後、そして20年後を見据えた、それぞれ活動を今日まで協議検討を進めて参りました。昨年の9月に矢島まちづくり協議会の提言書案というものが出来まして皆さんのおかげで、まとめることが出来ました。今後、協議会の取り組みとしては、我々、7月末まで任期がありますけれども、引き続き、それぞれの部会で作り上げた協議、それらをひとつひとつクリアしながら具体的な活動をこれから進めて参りたいなど、こう思っておるところであります。引き続き、委員の皆様方のご理解とご協力をお願いしたいなど、こう思っております。本日は、報告事項4件と協議案件2件となっております。本課の方からも担当の方が、お見えになっておりますので宜しく願いいたします。この後、2部の方の懇親会の方も予定しているというところで、スピーディーに進行の方を進めて参りたいと思っておりますので宜しく願い致しまして、挨拶に代えさせて頂きたいと思っております。今日はどうも有り難うございました。

【小松正振興課長】

はい、有り難うございました。続きまして、由利本荘市を代表して佐藤俊一矢島総合支所長が、ご挨拶を申し上げます。

支所長あいさつ

【佐藤俊一総合支所長】

本日は、お忙しい時期、ご出席を頂きまして有り難うございました。また、日頃から皆様には

市の事業、そして新規の事業に深いご理解とご協力を頂きまして、誠に有り難うございます。委員の皆様には、ただいま菅原副会長さんからもお話がありましたが、27年度8月に矢島まちづくり協議会というものをご委嘱申し上げましてから、今日で全体会5回目ということになりますし、また、各部会においては数回にわたって、いろいろと協議をして頂いてるところであります。そして昨年、1年間の協議をふまえて、ご提言ということで取りまとめをして頂きましたが、この後、また、提言についての解決策を探るために29年度の市の予算、あるいは、主要事業についてのご説明を申し上げ、また情報共有を図って頂きたいというふうに考えておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。以上でございます。

【小松正振興課長】

それでは、早速、次第の3つめの報告事項に入りたいと思いますが条例の規定により、ここからの進行は副会長の菅原さんに、お願いいたします。宜しくお願いします。

【菅原賢一副会長】

それでは暫時の間、進行を進めてさせて頂きたいと思いますが、座って進めていきますので、ご了承、お願いいたします。それでは、次第によりまして進めさせて頂きます。

3. 案件

【菅原賢一副会長】

報告事項の(1)ねんりんピック秋田2017について担当者より、ご説明をお願いいたします。

【鈴木司ねんりんピック運営班長】

いつもお世話になっております。健康福祉部長寿支援課ねんりんピック運営班から参りました鈴木と申します。宜しくお願いいたします。本日は、ねんりんピックのPRということで来ました。宜しくお願いします。ねんりんピック運営班では昨年の5月に関係団体様の参画の元、5月に実行委員会を設立させて頂きました。その後、10月には先催地である長崎県を視察しましたし、同じ10月には剣道競技のリハーサル大会を行ったところがございます。ねんりんピックについてですが、この後、こちらのチラシを基に同じ班の斉藤の方から説明いたしますので、どうぞ、宜しくお願いいたします。

【斉藤祐介ねんりんピック運営班主査】

昨年の11月まで矢島総合支所の産業課にお世話になっておりました斉藤です。宜しくお願いします。本日は、長寿支援課ねんりんピック運営班として、こちらのチラシに基づいて、ご説明させて頂きます。では座って失礼いたします。近頃、テレビや新聞等で紹介される事も増えてきておりますけれども、こちら第30回全国健康福祉祭あきた大会、こちらを通称ねんりんピックと申します。ねんりんピックといいますのは、例えて言いますと60歳以上の高齢者の方を対象とした国体をイメージして頂ければよろしいかと思っております。由利本荘市では、ソフトボール及び剣道の交流大会が開催されまして全国の都道府県及び政令指定都市から約1600名の方々がいらっしゃる予定となっております。こちらのチラシにございますけれどもソフトボールの競技、矢島多目的運動広場及びソフトボール場を会場としまして、矢島地域の競技につきましては9月10日、日曜日、翌11日、月曜日が開催日程となっております。参加者の方々には、ごてんまりなどの記念品をプレゼントする予定となっております、矢島地域の品物でありますと天寿さんで販売されている鳥海山の自然水を記念品として検討しているところがございます。また、各競技会場におきましては、地元の特産品などの販売ルートを設けまして由利本荘市のPRを実施していきたいと考えております。矢島地域での競技会場では、期間中に、やさしい王国の皆さんに

振る舞い鍋を提供して頂きたいと、今、交渉をしているところでございます。10日矢島地域、日程が八朔祭りと予定がかぶっておりますけれども、選手移動の際に使用するバスは、お祭りの進行に影響の無い様に調整をしておりますので、ご了承ください。また、当会場に来て頂いた全国の参加者の皆さんに対しては、この地域が、お祭りの開催中であることをPRしてバスの出発まで試合の合い間、待ち時間、そういった時間帯に町中に来て頂いて八朔祭りを見学して頂きたいなという風に事務局で考えているところでございます。今後は、地域の皆様方にも大会のボランティアとしてのご参加をお願いしながら準備を進めていきたいと考えておりますので、ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。以上です。

【菅原賢一副会長】

ただいま、ねりんピックの運営班の方から説明がありましたけれども、ここにあります様に(5)の方で、質疑応答という時間をとっておりますので、一通り説明を頂いて、その後に、まとめて、ご質問、ご回答いただきたいなと思っておりますので、宜しくご理解の程お願いしたいと思います。それでは、引き続き報告事項の(2)の由利本荘総合防災公園仮称由利本荘アリーナについて、ご説明お願いいたします。

【袴田範之総合防災公園運営管理準備事務局長】

総合防災公園管理運営準備事務局長をしている袴田と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。当事務局からは、今、本荘の石脇、国療跡地の方に建設しております由利本荘総合防災公園のアリーナの概要について、ご説明をさせていただきます。説明については、お配りした2つの資料それから準備して参りました動画によりまして説明させていただきます。説明の方は、当スポーツ交流連携班の斉藤主査がご説明いたします。宜しくお願いします。

【斉藤伸明スポーツ交流連携班主査】

総合防災公園管理運営準備事務局の斉藤と申します。宜しくお願いします。それでは、座って説明させていただきます。お手元にお配りしております資料ですけれども、最初にこちらの、由利本荘アリーナと書いております施設のパフレットの方をご覧ください。先日、終了いたしました市議会定例会で承認を頂きまして、施設名称は仮称ではなくて正式に由利本荘アリーナということで決定しております。2018年の10月の供用開始オープンを目指しまして順調に工事が進んでいるところでございます。工事の進捗状況ですけれども由利本荘アリーナ本体の2月末の工事出来高というのが約36.1%となっております、現在も付帯工事を行っているところでございます。今後、屋根付きグラウンドの工事も始まりまして平成30年の6月にアリーナ本体と屋根付きグラウンドが完成し、約3ヶ月の準備期間を経まして平成30年の10月のオープンを予定しているということになっております。また、多目的広場ですとか外工工事に関しましては平成32年3月までの工期となっております。施設の概要につきまして、若干ご説明させていただきますけれども時間の関係上、主要な施設の部分についてだけのご説明とさせていただきます。それではパンフレットの方をお開き下さい。開いて頂いたパンフレットの上段の方に書いてありますのはアリーナ棟の1階部分の平面図になっております。1階部分の1Fと書いているピンクの部分ですけれども、そちらの方アリーナと記載しておりますが、そこがメインアリーナとなっております、その下の方にある薄いオレンジ色の部分にサブアリーナがございます。サブアリーナの右側になりますのが剣道場、そしてサブアリーナの左側になりますのがマシンジムとスタジオ、そしてスタジオの左下になりますのが、コミュニティー施設の1階部分、紫色部分がコミュニティー施設の1階部分となっております。まず、ピンク色の部分、メインアリーナについてですけれども、横幅が91m、縦幅が38mで、面積にしまして3,458㎡、東北でも最大級といった

形の大きさになってございます。具体的に、この大きさのメインアリーナでこういったことが出来るのかということになりますけれども、バスケットボールですとかバレーボールは公式サイズで4面、バトミントンですとか公式サイズで16面、あと公式ではないですけども20面位はとれるとなるかと思えます。あと卓球ですとか24台置くことが出来るとなっております。フットサルやハンドボールの場合は2面を公式サイズでとることができ、全国ですとか東北、全県規模の大会、そういった大会の開催が可能となります。また、センターコートという形で使用しましてバスケットやバレー、フットサルといったトップリーグの試合の開催のほか、メインアリーナの出入りの扉は全て二重扉といったような形となっております防音対策がとられていることから、スポーツだけではなく、これまで開催することが出来なかった大規模なコンサートですとか、イベントにも活用することができるようになります。次にメインアリーナの下にありますサブアリーナですけれども、こちらの大きさは横幅が32m、縦幅が20mで、面積としまして640㎡、バスケットやバレーが1面、バトミントンが3面、卓球台が4台分といったスペースになります。こちらは主に、市民の各種サークルの活動の拠点として競技が想定されるほか、トップリーグの試合の際の選手のウォーミングアップの会場といった利用も考えられております。続きましてサブアリーナの右奥横にあります剣道場ですけれども、広さ関係、横が16.7m、縦が32mで、公式サイズで剣道場2面をとる事ができます。こちらの方は剣道のほか、剣道をやらないときはヨガ教室ですとか各種サークル活動での利用ということが考えられております。続きましてサブアリーナの左隣になりますマシンジムとスタジオでございます。こちらの方、パンフレットの方ではマシンジム、スタジオといった記載になっておりますけれども、一応、使用規則で定められております名称としましてはマシンジムの方がトレーニングルーム、そしてスタジオの方がフィットネススタジオというような形の名称になる予定となっております。トレーニングルームではスタッフを常時、配置しましてトレーニング機器の使い方ですとか、その人にあったトレーニング内容の指導のほか、健康相談事業を行うということを考えております。また、フィットネススタジオでは、エアロビクスやヨガといった教室を開催して、いつでも気軽に誰でも参加出来る様なプログラムを提供できるようにしたいと考えております。続きまして1階左下部分になります紫色の場所、コミュニティー施設の1階部分になりますけれども、こちらのコミュニティー施設の1番左側にあります大会議室という、小さい文字になってますけれども、大会議室には約100人程度、そして、右側になりますけども小会議室というところは、約50人程度の会議が可能という様な、そういった形に対応した会議室になっておまして、平常時は町内会ですとかサークル活動などを想定しております。小会議室の方は災害時には避難所という形で、アリーナの避難所本部としての活用を予定しております。続きまして、こちらパンフレットの中身の下段になりますけれども、2階部分の平面図になります。2階の主な施設としましては、単体としましては2,264㎡の面積になりまして、こちら外側に1週270mのランニングコース、あと柔道場、鳥海ラウンジ、鳥海テラスのほか、コミュニティー施設の2階部分という風な形となっております。柔道場は剣道場の、ちょうど上の部分にあたりまして大きさが剣道場と同じ横が16.7m、縦が31mで、公式のサイズで2面をとれるサイズです。こちらも剣道場と同様に柔道だけの利用でなく、柔道の利用がない場合には各種サークル活動といった形の利用も考えております。次に紫色の部分がコミュニティーセンター、コミュニティー施設の2階部分となりますが、こちらの方には大宿泊室兼休憩室部分があります。こちらは畳敷で約畳96畳分の大きさとなっております。横に長い部屋になるわけですけども稼働が多い時期で3箇所区切ることで1部屋あたり約24畳の部屋を4つに分けて利用することができます。想定される利用方法としまし

ては大会議室と同様に各種サークルや町内会での会議のほか、施設としての宿泊場所というものを想定しております。続きまして、その左側に小さくあります300と書いてあります所がコミュニティー施設の3階部分になります。こちらには1部屋に2段ベッドを2つ、4人が泊まることが出来る小宿泊室兼多目的室というものが6部屋ございます。そして、その6部屋の中央部分に浴室がございます。続きましてパンフレットの最初の方に由利本荘アリーナと書いてあります表紙の方をご覧ください。駐車台数約1,000台というふうに赤字で記載されてる部分がありますが、その右横に屋根付きグラウンドということで、これから建設が進められる所なんですけども、そちらの方、横が37.5m、縦が43mで面積としまして1,613㎡となっております。床材は人口芝を使用し公式戦フットサルが一面とれる大きさのサイズとなっております。こちらの方はテニスやフットサルだけではなくてグラウンドゴルフですだとかゲートボール、あと冬期間ですと野球であるだとかソフトボール、サッカー等の屋外競技の練習場所として活用されるのではないかと考えております。そして、本施設、総合防災公園という位置づけでございますので施設及び敷地内は地震や竜巻等、自然災害発生時ですとか火災や津波等の2次災害から市民の生命と財産を守る約2万人の一時避難場所、及び約3,000人の避難所としての役割を果たすこととなります。なお、由利本荘総合防災公園の標高でありますけれども、この公園の敷地の一番低いところで17.5mとなっております、平成28年3月に県から公表されております、石脇地域で想定されております最高津波高が10.8mとなっておりますのでご承知いただければと思います。距離的には、こういう地域にお住まいの方にも、行ってみたい、見てみたい、参加してみたいと感じて頂けるようなイベントや各種教室の開催などを心がけて参りますので完成した際には、ぜひ、ご活用して頂ければと思いますので宜しく願いいたします。資料による総合防災公園施設アリーナの施設活用についての説明は以上となります。これから3分程度の完成後のイメージ動画をご覧頂きたいと思っておりますので宜しく願いいたします。

<動画上映しながら各種施設説明等>

【袴田範之防災公園運営管理準備事務局長】

以上で映像の方を終わりますけども、お配りしたA4の両面刷りの資料をご覧ください。当事務局では平行して市内の各スポーツ施設に大会とか合宿を誘致するために、昨年11月に由利本荘市スポーツ博物コミッションという組織を立ち上げて、その組織がありますけども平行して、このアリーナへの大会、イベントの誘致も行っております。現在、誘致活動をしている中で想定されるものを、ここに記載させて頂いておりますけども、こういうものを誘致するとか企画するとか、いろいろと、子供達に対して今、将来、夢見ることができるようなものを、ぜひ導入したいなというふうに考えてございますので、ぜひ、まちづくり協議会の皆さんからも、施設のご活用と、それから、ご支援とご協力の方を宜しく願いいたしまして、以上お話をさせていただきます。有り難うございました。

【菅原賢一副会長】

はい、有り難うございました。それでは報告事項の(3)の方に移りたいと思います。公立保育園民営化と地域資源を活用した新しい産業の育成事業について、ご説明をお願いいたします。

【大場ひろみ保育園民営化・地域資源を活用した遊び推進事務局長】

保育園民営化・地域資源を活用した遊び推進事務局の大場と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。私の部署の名称は今申しましたとおり、とても長うございまして、それが、その事業内容そのものを語っている様なものでございまして28年の4月に、この大きな2つの事業をするということで新たにできあがったセクションでございます。本日は28年度の一年間をかけて

これまで私どもの所で進めてきました事業の内容について、ちょっとお時間を頂戴してお小言ついできたいと思って参りましたので、どうぞ宜しくお願いいたします。座って説明させていただきます。当事務局の方からの資料は1枚ものの報告事項と記してありますが順番にそって読み上げながら説明させて頂きたいと思います。1番の公立保育園の民営化の進捗状況につきましては当地域には市立、公立の保育園さんは存在してないわけなんですけれども、由利本荘市には5つの地域、岩城、由利、大内、西目、鳥海に、それぞれ8つの市立の保育園が存在してございます。この度、市の方針といたしまして、その8つの保育園、全てを新たな社会福祉法人さんの方に委譲して経営をお願いしたいということで28年の当初から準備会というものを立ち上げまして、この度、昨年11月には、その新しい法人といたしまして社会福祉法人由利本荘保育会、理事長を石川裕様をお願いをして、そちらの設立となりましたので29年4月から、そちらの方に運営をお願いしたいという事で現在準備の方をすすめているところでございます。法人本部の事務局は大内地域になります岩谷保育園の方においておりまして、8園の事務を一手に引き継ぐという形で今、準備を進めているところでございますし、こちらの法人はこれまで経営の実態がないとか、経験がない法人でございますのでスタートした暁には当地域の保育園さんと、また、いろんな教えて頂きながら、また当地域の方々からも愛して頂きながら運営できればと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。2番目の地域資源を活用した新しい産業の育成事業という所でございますが、こちらにつきましては(1)にあります通り先日2月の13日に東京にありますNPO法人日本ウッドトイ委員会が運営する東京おもちゃ美術館と本市とのなかでウッドスタート宣言の承認を行わせて頂きました。ウッドスタート宣言と申しますのは当地域山林資源が、まだまだ残ってございますけれども、その暮らしの中に山林資源、木を取り入れまして、その木の持つ可能性を最大限引き出して、子育てや木育に活かしていこうとする取り組みでございます。本市におきましては事業の内容といたしまして今後、進めていこうと考えているのが、地域産木材を活用して地元の職人さんに、いろんな、おもちゃをはじめ、いろんな物を制作していただき、それを、おもちゃとすれば今度生まれてくる赤ちゃんに誕生祝い品としてプレゼントをしたいと考えてございまして、新しく、いろいろな、おもちゃも発信していきながら、その承認にむけて進んでいけるように出来ればと考えてございまして。また、その、おもちゃを配置する位置といたしまして、多世代交流拠点施設、仮称でございますけれども、おもちゃ美術館というものを整備していこうという事業を考えてございまして。(2)のおもちゃの制作講習会の開催状況でございますがウッドスタート宣言をするにあたりまして28年度中には、すでに、おもちゃの制作講習会というものを開催させて頂いております。地元の職人さん方によりまして、本市独自のおもちゃもすでに開発していただきまして、その試作品を昨年の秋に行われました木育フェアのお席でお披露目させていただき、皆さん方にも遊んでいただいて好評を得ているところでございます。本年度、6回目の講習会につきましては、先程申しましたとおり、今後生まれてくる赤ちゃんに誕生祝い品をプレゼントしたいという人にむけて、そのデザイン等の検討に入る予定でございますし、29年度には引き続き制作に入っていきたいと考えているところでございます。また3番の仮称おもちゃ美術館の整備状況でございますが、先程申し上げましたとおり、新しく開発したおもちゃなどを展示することと、それから、それを使って遊んで頂ける場所と致しまして由利地域にあります旧鮎川小学校、その廃校を活用いたしまして、その趣をそのまま残しながら、中をちょっと、手を加えさせて頂きまして、おもちゃ美術館というものを整備させて頂きたいと考えております。現在は、その日本ウッドトイ委員会に実施設計を委託しておりまして、29年度中には、もう建設に入りまして平成30年の7月のオープンを目指しているところでござい

す。こちらにつきましては、今後、運営のあり方として指定管理を目指しているんですけども地域の方々が、いつでも、お運び頂ける様に、そういう施設を目指しておりますので、例えばボランティアとして、そこで遊びを見守って頂く方だとか、昔ながらの遊びを伝承して頂く方、いろいろな形での人材育成に努めまして、皆様方からご協力を得て、遊びを広げていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。事務局からは以上です。

【菅原賢一副会長】

はい、有り難うございました。それでは報告事項の最後になりますが（4）鳥海山飛島ジオパークについて担当の方からご説明をお願いします。

【佐藤陽一振興主席主査】

矢島総合支所振興課の佐藤陽一と申します。宜しくお願いいたします。それでは座って読み上げさせて頂きたいと思えます。それでは鳥海山飛島ジオパークの詳細について説明させて頂きます。昨年、平成28年9月9日、由利本荘市は、鳥海山を囲む、にかほ市、酒田市、湯佐町と共に日本スタジオジオパークに認定されました。しかしながら、まだ、ジオパークが、どういったものなのか解らないという方が、まず、多いと思えます。前回、市では市民の皆様に対しまして幅広くジオパークをPRするため、各地域にジオパーク推進員を置いて、折に触れて説明させて頂いております。本日は、少しの時間ではございますが、ジオパークの認定の概要につきましてご説明させて頂きたいというふうに思えます。資料につきましては、こちらの方の集約したものとパンフレットの方になります。それでは次第の方に沿って説明させていただきますので、宜しくお願いします。まず、はじめにジオパークの概要についてであります。一般的にジオパークのジオは地球あるいは大地、パークは公園と訳されておりますが、ジオパークとは、この地域の天然資源、地形などの自然遺産や、この地域の歴史、生活、文化を保護、保全しながら、そういったものを教育や観光、地域振興に積極的に活用していこうという取り組みのことを呼んでおります。観光資源としてだけではなくて、教育そういったものに活用していこうといった取り組みでございます。ジオパークの下の方ですけれども、ジオパークの見どころにつきまして、一回で言いますけれども、簡単に説明させていただきたいと思えます。ジオパークの見どころをジオサイト、また、ジオパークの利用した活動をジオパーク活動と言っておりますが、まずは鳥海山飛島を中心とする、この地域がジオパークに認定され、この様な取り組みを行っていくことを皆様に、まず、知っていただき、ご理解とご協力をお願いしたいというふうに考えております。次のページの方をお開き下さい。2ページの方になります。ジオパーク構成要素についてであります。ジオパークの中心は鳥海山をはじめとした天然資源となります。天然資源につきましてはパンフレットの方に、こちらの方24箇所ですけれども、こちらの方を合わせてご覧いただければなというふうに思えます。こういった資料を見開きながら開いていただければというふうに思えます。こういったジオパークの中心は鳥海山をはじめとした天然資源となりますが、生活、文化に関連するものを全てジオパークの構成要素ということで種類につきましては酒蔵、それから神社、動植物とありますが、このほか、お寺、道益苑など、この地域の生活、歴史、文化、そういった関連のものを全てジオパークの一部という格好になっておりまして、そういったものを全国にPRしていこうといった取り組みでございます。次に日本のジオパークについてであります。日本では平成20年に発足しました日本ジオパーク委員会が審査を行っておりまして、現在のところ、43地域が認定されており秋田県内では八峰白神、ゆざわ、男鹿半島・大潟ジオパークの3地域が、すでに認定を受けております。細かい字で、ちょっと見えないんですけども、3ページの方をお開き下さい。鳥海山・飛島ジオパークの範囲でございます。範囲につきましては

由利本荘市、にかほ市、湯佐町、酒田市の行政の範囲となっております。つまり、鳥海国定公園だけではなくて各由利本荘市の天然資源、自然遺産、全てがジオパークの一部ということになってございます。次に下の方ですけれども、次に鳥海山・飛島ジオパークのテーマ・特徴についてというふうに書いてありますけれども鳥海山の一部は世界最高レベルの降水量となっているということで鳥海山と大地が作る水と命の循環として子供達の教育のテーマとしても活用できるのではないかとこのように考えられております。4ページの方、ご覧下さい。由利本荘エリアのジオサイトとして主なものをあげております。本日は、時間の関係上、説明の方、割愛させていただきますけれども、今後は地域の皆さんからの情報提供やワークショップなどを通じまして、新規発掘を行っていくということと聞いてございます。資料につきましては後ほど、ご覧頂きたいなというふうに思っております。次に、6ページの方を見て下さい。最後になりますけれども、最後に地域の皆さんに、お願いになりますが、まずはジオパークについて知って頂き、ぜひ、ジオパーク観光に参加して頂きたいというふうに考えております。ジオパーク認定のハードルは、かなり高かったというふうに聞いております。ジオパーク認定にあたっては鳥海山飛島の自然遺産、そこに育まれた歴史、生活、文化、そして、そういったものを次の世代に引き継ごうとする取り組みが、高く評価されたものであります。これまで各自治体が、それぞれ、独自に鳥海山のPRをしてきましたが、今後は世界にも通用するジオパークとして高い宣伝効果を期待できる共に、この地域に暮らす誇り、素晴らしさ、そういったものを感じながら、ますますの地域活性化が図られていくことを期待しまして説明とさせていただきます。どうも、有り難うございました。

【菅原賢一副会長】

はい、有り難うございました。ねりんピック運営班、そして防災公園運営管理準備事務局、さらには、保育園民営化事務局、矢島総合支所と、一通り、報告事項ということで説明頂きました。続いて、質疑、応答に移るわけですが、本日おいでの本課の方々は、お話を聞きますと、この後、西目の方でも同様の説明会があると、というような事で、どうしても、今日この場で聞きたいという様な、ご質問があれば、お受けしたいと思っておりますが、その他のものであれば、後日総合支所を通じて皆様方にお答えしていくと、というようなことでもありますので、時間が限られておりますが、ぜひとも、おいでのの方々に、今、聞きたいという方がおりましたら、質問していただければなと思っております。どなたかございませんか。限られた時間の中で、一通り説明頂きましたけれども、まだまだ、ご理解いただけないところが、もしかしたら、あったかもわかりませんが、いかがでしょうか。先程、言いました様に、もし、この後、どうしても、こういうところ、お聞きしたいなということがありましたら、総合支所の方を通じて担当の方に聞いて、ご回答をだしていくと、というようなことになっておりますので、ご理解いただければありがたいと思っております。よろしいですか、ご質問の方、特に無ければ、ただいま申し上げました通り、西目で、5時半過ぎからですか、あるというようなことで、限られた時間の中での説明でしたけれども、この後、本庁の職員の方々は退席というようなことで、西目に向かうということで、皆様のご理解をいただきたいと思っております。今日は本庁の本課の方々、大変、有り難うございました。ご苦労様でした。

【本庁職員一同】

有り難うございました。

<本庁職員退席>

【菅原賢一副会長】

どうも、有り難うございました。お気を付けて。それでは、大きい4番の方に移って宜しいで

しょうか。それでは、大きい4番の協議案件(1)の平成29年の主要事業につきまして事務局より、説明方お願いしたいと思います。宜しくお願いします。

【佐藤俊一総合支所長】

それでは、各課からの事業説明の前に私から市の全体的な事業の内容について若干、お話をさせていただきます。資料1の主要事業については、市全体の事業という事で、後ほど、ご覧いただきたいと思ひまして、各課からの事業について資料2で説明を申しあげますが、29年度の予算が3月の8日の議会で可決されまして4月1日から執行されるということになります。今年の予算については4月に市長選挙を控えているという関係から骨格予算というような位置づけになってございます。どうしても必要な計上の経費ですとか、これまでの継続した事業については予算が貰われているということでもあります。その市長選挙後に政策的な予算ですとか、あるいは新規の事業については、選挙後の議会において、おそらくは、5月の中旬くらいからの6月議会となるかと思ひますが、そこで政策的な予算が審議され、その後に事業開始ということになりますので、この細かいところを見てみますと、なかなか新しいものが無いんじゃないかというふうな疑問があるかもしれませんが、そういう意味合いがござひます。ただし、人口対策ですとか、雇用対策ですとか、そういうものについては切れ目の無い事業展開をしていくということで、盛られたものもござひますので、宜しくお願いをいたします。それでは、各課から説明を申し上げます。

【佐藤昌司振興課長補佐】

はい、そうすれば、資料の2横版のA4の横版の資料になりますけれども、そちらに基づきまして振興課の方から説明したいと思います。資料お開き頂いて、1ページ目になります。振興課所管事業を7つ程あげておりますが、主なもの4点ほど説明したいと思います。はじめに1と書かれた地域づくり推進事業でござひます。予算額2千600万円と書かれておりますけれども、これは由利本荘市全体の金額でござひます。皆さん、ご承知のとおり、ソフト事業の推進、地域活力の増進を図るという目的でつくられている事業でござひますが、先程2千600万円という話をしましたが、一地域300万円の枠になっております。本荘地域だけが500万円ということで2千600万円という予算額になっております。皆さんご承知だと思いますけれども事業の要望が2月16日で締め切っております。矢島地域14件の要望がござひまして要望額が395万5千円ござひました。先程、地域枠と申しあげましたが、もし、300万円枠まで届かなかった地域があれば、その残った予算を足りない所に配分するというような事でござひまして、たぶん、明日の日付で内示をする予定でござひまして、おそらく要望額のどおりの内示になるだろうと思ひます。続きまして3番目、地域調査事業に移ります。予算額が2千379万9千円ということで、平成28年度の補正予算についた予算でござひますけれども、国の平成28年度予算の補正で付き、市では12月補正でしたので事業が終わらないということで、29年度繰り越しの予算で行う事業でござひます。調査地区が立石字行平の123ヘクタール、登記事務については立石字の草井沢、草沢、冬道沢の46ヘクタールの予定となっております。それから5番目、同報系防災行政無線屋外拡声子局増設事業でござひます。これにつきましては予算額500万円ということで鳥海、矢島、西目地域のモーターサイレンが老朽化してしまひて、これを撤去するという事で、それを補うための屋外拡声子局を増設するという事になってござひまして、これの実施設計費となります。3地域での実施設計費ということでござひます。その予算でござひます。矢島地域の工事につきましては平成30年度の工事着工の予定ということで平成30年度の予算に工事の方は予算が盛られるということになっております。続きまして6番目、非常備消

防機械器具等整備事業900万円でございます。これは小型ポンプ付き積載車の更新ということで矢島支団の元町分団になりますけれども、そちらの方の積載車の更新という予算でございます。振興課からは以上でございます。

【三浦浩喜市民福祉課参事】

はい、では続きまして市民福祉課のご説明をさせていただきます。市民福祉課の方は1番から5番までと、空間1つ空いて番号が振られてないものもありますけれども、この6つの中から3つ程かいつまんで説明させていただきます。まず1番の矢島地域敬老会について、でございます。由利本荘市内各地域で敬老会が開催されており、市の全体事業費といたしましては1千988万3千円ということでございます。そのうち、矢島地域分といたしましては107万4千円が、予算配置されております。対象となります75歳以上の方は、2月10日現在の数字となりますが、平成29年度は1,129名でございます。ちなみに昨年度は1,104名の方が対象になりまして、そのうち参加された方が361名ということで、参加率にしますと約32.7%、だいたい3人に1人の参加という数字でございました。今年も1,129人に対して、だいたい3分の1の参加となりますと370人位になるわけですが、まず400人、集まるという予定でいます。今年開催日は6月3日の土曜日ということで今のところすすめてございます。続きまして2番の老人福祉センター「寿康苑」補修事業でございます。寿康苑の方、建設年度が平成3年ということで、かれこれ25年以上経過しております。あちこち不具合がでて参りまして、平成29年度につきましては冷暖房設備に関しまして大規模な改修を行うということで予定してございます。それから、最後に番号がふられてないところでございますけれども、木質バイオマスボイラー燃焼試行事業というものがございます。こちらの方は実施団体が由利本荘市雇用創造協議会というところでございまして、現在、矢島老人福祉センター「寿康苑」に地場産間伐材を活用した薪ボイラーを設置しておりまして、その効果による灯油使用量の減少に関して実験しております。進捗状況について聞きましたところ、残念ながら、今のところはまだ狙った程の効果がでておらないということでしたけれども、まだ、これから実験が続く中で、もっともっと効率的な運用を研究していくということでございました。市民福祉課からは以上です。

【土田智之産業課長補佐】

続きまして、産業課の方の農林水産関係をはじめにご説明をさせていただきます。資料3ページ目でございます。ナンバーが2ということで青年就労給付金事業というものがございます。こちらにつきましては、文字通り若い方が新規で就労された場合に交付するという、個人ですと、年間150万円を上限に交付するという事業になっておりまして、当矢島地域では継続で2名の方がおります。今年度、新たに1名の方が、申請をして頂いているという状況でございます。続きまして4ページ目でございます。9番、多面的機能支払交付金事業ということで10番、中山間地域等直接支払交付金です。こちらにつきましては水田に関わる維持をしていただいているものに交付をするということで、こちらは例年通り交付されるということです。12番でございますが県営林業専用道木在線整備事業です。こちらにつきましては、平成27年からの4カ年の継続事業となっておりまして、立石地区から木在地区の方まで、通り抜けできませんけれども、こちらの林道を整備して今後の間伐等々の事業に使っていただくという道路の整備をしているところでございます。続きまして5ページ目になります。13番、地域木材利活用振興事業ということで、こちらの事業はペレットストーブや薪ストーブの設置補助ということで予算計上してございます。市全体で10台分、1台あたり約10万円でございますが、10台限りでありますのでご希望の方がいらっしゃいましたら、お早めに問い合わせ等できれば良いと思っております。

ございます。14番、小規模林業普及促進事業でございますが、こちら、なかなか場所が解りづらいかもしれませんが旧中学校のプールの前の所に木のプールというものが現在設置されてございます。これにつきましては、各個人の山に間伐の林地残材として残っている木材を各個人の方が搬入して頂きますと、いくらかではございますが、それを買い取りするというふうな内容の事業となっております。あと15番から17番までで県営の治山事業ということで、沢内地区、砂子沢地区、下貝喰地区で、こちらにつきましては地域要望等ございましたところで緊急性があって、必要だということで県の方でしていただいている事業でございます、これにつきましては3地区の計画ですすめているところでございます。続きまして、商工観光の方にいきたいと思えます。

【佐藤徳和商工観光班長】

商工観光班の佐藤でございます。宜しくお願します。商工観光班につきましては、18番から21番までの4件あげさせていただいております。こちらの18番、19番につきましてはスキー場機器の点検及び更新事業ということで、年次計画に基づき計画したものでございますので、説明の方は省略させていただきたくします。続きまして、20番のサイクルロードレース大会補助金でございます。こちらは、例年、住民の方々にご協力いただいております事業ですが、来年度31回目の矢島マウント鳥海バイシクルクラシックを開催する予定としております。予算でございますが161万5千円で、昨年よりも若干ではございますが少なくなっております。来年度につきましては、7月29日、土曜日、タイムトライアル、7月30日、日曜日にヒルクライム、祓川まで行くレースを予定してございます。前回の30回大会につきましては、1stステージ461人が参加、2ndステージ1,086人が参加ということで1,000人以上の規模の大会となっております。来年度も、住民の皆様にご協力いただく大会になるかと思えますので、宜しくお願いたします。続きまして、21番の森の休憩所施設管理事業でございます。予算としては23万円でございます。こちらにつきましては、平成28年度に未来づくりプロジェクト事業で建築されていまして休憩施設でございます。建物の場所としましては、城内宇木境にありました元の営林署鶯川事業所跡地に建築されたものでございます。桑の木台の湿原に入る手前のところでございまして、トイレ付き休憩所を建築したということでございます。矢島総合支所で来年度から管理するというところで、消耗品や備品の購入経費として予算として計上されております。以上でございます。

【玉米定之建設課長】

続きまして建設課より説明したと思えます。資料につきましては6ページと7ページの2ページとなっておりますが、抜粋してご説明したいと思います。まず1番の市道祓川線道路拡幅工事でございます。これは昨年度に工事を発注しておりますが、場所が鳥海山に通じるころなので冬季間は工事が出来ないため、29年度に繰り越して、これから事業をすすめていく所でございます。この場所につきましては、通称ヘアピンカーブと私達は言っているところです。雪消え後すぐに、本格的工事に入るわけですが、どうしても交通規制が必要になるため、現在、施工業者と関係団体と、協議を進めておりまして、できる限り影響が少なくなるようにしたいと思えますがその規制内容が決まり次第、広報等で皆様にもお知らせしたいと思えますので、ご理解を宜しくお願いたします。続きまして2番目、これも、祓川線の拡幅工事でございます。祓川線の工事は全体で5箇所の特に狭い場所を改良するという計画になっておりまして、1番は昨年度の事業でしたが、2番目は本年度事業として新たに実施することで、本年度2箇所の工事の予定になっております。場所といたしましては、湯ノ沢方面、鳥海地域へと分かれるところがあるのですが

そこよりもちょっと上の所で急カーブのうえに、急坂の部分であります。そのところを今年度、新たに工事に着手するという事になっております。続きまして3番目、市道矢島下郷線調査測量設計業務委託、これにつきましては、立石橋から立石の集落の方に向かいまして集落の入口付近まで約400mに歩道を設置するという計画のもと、今年度は測量と設計を実施するという事業となっております。続きまして7番、市道猿倉花立線復旧事業ですが、ここは、崩落事故のあった現場ですが、今現在、測量設計業務を実施している最中でありまして、まだ、正式な復旧工法は決定していないと伺っております。ただ、29年度には工事に着手するという計画のようなので、ここで報告をしたいと思います。建設課からは以上です。

【佐藤のり子教育学習班長】

教育学習課の佐藤です。教育学習課は8ページ、そして裏面の9ページとなります。1番、小学校経年劣化箇所修繕事業についてです。矢島小学校は昭和47年に建築され44年が経過しております。劣化箇所を修繕する事業でありまして、平成27年度から緊急度の高い箇所より修繕を行っており平成29年度で3年目となります。本年度は北校舎3階の屋根、軒先裏の補修を中心に行う予定です。予算額は525万円となっております。続いて7番の屋内運動広場内部鉄骨塗装修繕事業についてです。屋内運動広場は平成8年4月から供用を開始し20年が経過しております。鉄骨部分の腐食などがあり、平成28年度には中央部分の塗装を実施しており、29年度は残りの部分の塗装を行う予定です。予算額は650万円を予定しております。続いて、9ページの9番になります。勤労青少年ホームの名称変更についてです。矢島勤労青少年ホームは地域で働く年少労働者の健全な育成の場として昭和54年に竣工しましたが勤労青少年の利用の減少により、平成29年4月より矢島体育センターとして一体管理を行い、利用される方は使用料が発生します。教育委員会からは以上であります。

【菅原賢一副会長】

はい、有り難うございました。それぞれの課の担当者から平成29年度の主要事業について、説明がなされましたけれども、質問につきましては(2)の方の平成29年度上半期の行事予定が終わってから、皆さんから、ご質問を受けたいと思います。それでは、早速(2)の平成29年度上半期の行事の予定について、ご説明願います。

【佐藤昌司振興課長補佐】

はい、そうすれば私の方から資料の3、平成29年度矢島地域の主な行事予定(上半期)という資料に基づいて説明させていただきます。表面が4・5・6月という裏面が7・8・9月という月の行事予定となっております。はじめに4月でございますが主な点の説明となります。皆さんもご承知のとおり4月9日、県知事選挙、由利本荘市長選挙、市議の補選がございます。今のところ知事選はあるということで、新聞報道なんかでもありますが、市長選、それから市議補選は無投票になる見込みだという事を聞いておりますが、告示にならないとわからないということで4月9日投票日の予定となります。それから4月22日、花立クリーンハイツのオープン、子供の国のオープンということで予定しております。それから4月28日、鳥海山の山開き及び、祓川線開通ということになっております。続いて5月になります。5月20日、菜の花祭りのオープニングセレモニーがあります。それから5月31日、チャレンジデー2017ということで5月31日にチャレンジデーが予定されているということでございます。6月に入ります。6月11日、消防団矢島師団の伝達講習会、それから25日が矢島支団の訓練大会になります。裏面になります。7月9日、市の消防訓練大会があります。8月に移ります。8月、山の日、8月11日に鳥海山遊登山、ちびっこハリキリマウンテンが開催されます。それから8月21日、由利

本荘市総合防災訓練というのが矢島会場でございます。本来であれば本荘地域が29年度の開催予定でありましたが防災公園の完成の年に本荘地域がやりたいということがございまして、前倒しで矢島が29年度防災訓練の担当地区ということになりまして8月21日、開催の予定でございます。それから9月になります。報告にもありましたが、ねんりんピック秋田2017が9月10日、11日、矢島地域でソフトボール競技が開催されます。上半期は以上になりますけれども、表面に戻っていただいて、下半期の主な行事というか大規模な事業、下の方に、ちょっと書かせていただきました。第140回の秋田県種苗交換会が由利本荘市で開催されます。10月の31日から11月の3日まで開催されるということになっております。また由利本荘市の市民まつりが、その前の週になります。10月21日、22日の土日、矢島産業文化祭が10月28日29日の土日という予定で開催されるということとなっております。主な行事予定は以上となっております。

【菅原賢一副会長】

はい、有り難うございました。協議案件(1)、(2)を一通り担当者の方からご説明いただきました。それでは皆さんから質疑応答を受けたいと思います。協議案件の説明に対して皆さんから、ご質問あれば受けたいと思います。ございませんか。

【A委員】

はい。

【菅原賢一副会長】

Aさん。

【A委員】

予算説明の建設課の中で、9番の由利地域振興局の内容なんですけれども、この中に水上2号地区に予算がついておりますけれども、2号とはどの辺の所をいうのか、もし分かりましたら。

【菅原賢一副会長】

建設課長、お願いします。

【玉米定之建設課長】

はい、9番の事業につきましては県の事業なので、参考ということで載せましたが、この水上2号地区というのは、水上の北島保雄さんの家の裏の斜面になります。そこには雪崩の予防柵がちょっと少なめなんですが付いておりまして、それも老朽化していて危険だということで、今年度、測量と新しい予防柵の設計を実施するという計画だと聞いております。ちなみに、その下の小田地区というのは祥雲寺のお寺から城新に下りてくる急な道路がありますけれども、その道路沿いのところが、今まで急傾斜地の範囲から外れていたのですが、今年度、調査・測量が実施され若干範囲が広がりました。測量は今年度終わっているので設計について、29年度実施するという計画のようです。

【菅原賢一副会長】

Aさん、宜しいでしょうか。ほかにございませんか。はい、どうぞ。B委員。

【B委員】

1ページ振興課の5番、同報系行政防災行政無線につきまして確認ですが、こちら500万円という金額があるんですけれども、こちらの金額は、あくまでも実施設計委託費という解釈で宜しいでしょうか。

【菅原賢一副会長】

はい、振興課長。

【小松正振興課長】

先程も説明申し上げましたが、矢島分の工事は平成30年度になります。29年度については鳥海と西目と矢島の設計費ということです。

【B委員】

はい、有り難うございます。

【菅原賢一副会長】

B委員、よろしいでしょうか。ほかにございませんか。

【C委員】

地域づくり推進事業の予算が、地域枠がなくなったという話を聞いてたんですが、先程の話では、説明の中では余ったものがあれば配分するというふうな話ですが配分方法というのは、どういふふうな形になるのでしょうか。

【菅原賢一副会長】

はい、振興課長お願いします。

【小松正振興課長】

地域枠は、各7地域が300万円のかける7地域で2千100万円の本荘枠が500万円ということで合計2千600万円と、1次募集といいますか、最初の募集で全体にかかる金額が2千600万を超えない場合は希望どおりの額がいくということで、矢島の場合は395万5千円の希望がありました。市全体で合計して2千500万円弱の枠内になったので、矢島の395万5千円は全部、今のところ、認められるだろうということで、この後、地域によって、少なかった枠以内のところは、再募集をして、その枠内で2千600万円までは使えるという内容になっております。以上です。

【菅原賢一副会長】

はい、有り難うございました。他にございませんか。この後、あとで、じっくり、ご覧になって、質問したい所ありましたら、あとで総合支所の担当の方へ、お聞きになっていただければ、ありがたいなと思っております。それでは先に進んでよろしいでしょうか。はい、それでは、大きい番号の5番、その他の方に移りたいと思います。事務局から何かございますでしょうか。

【佐藤昌司振興課長補佐】

そうすれば、私の方から、その他ということで、資料はございませんけれども、昨年、まちづくり協議会の方から提言書を提出していただきました。その中身に、つきましては、皆さんご承知のとおりだと思いますけども、具体的な部分、具体的でない部分、いろいろありますけれども今後、このまちづくり協議会の委員任期の間に、再度、部会を開いていただいて、具体的でない部分を詰めていっていただきたいというふうに思っております。いずれ、まちづくり協議会の提言に対して、市が、どのように対応していくのかということもございませし、議会の方にも報告しなければいけないということもございませるので、具体的でない部分が若干ありますので、それを、もう少し詰めて具体的に、提言の内容が具体的に、どのように進めていけば良いのかというものを最後、協議していただくということを各部会にお願いしたいと思っております。事務局の各担当課の方には、そういったものを、こういうふうにしていただきたいという指示は、いたしますけれども、また、運営部会なりで詳しく相談しながら29年度、各部会の開催ということが考えられますので、なんとか協力の程、お願いしたいと思っております。以上です。

【菅原賢一副会長】

はい、事務局より、今後のまちづくり協議会の進め方について、ただいま説明がありましたけ

れども、この説明について皆様方から、質疑、ご意見ございましたら受けたいと思いますが、よろしいですか。ほかに、その他で、委員の皆様から何か、ご質問等ございませんでしょうか。

【佐藤俊一総合支所長】

私の方から29年度の主要事業とは別に、地域の大きな課題として、取り上げたいことを一つ申し上げたいと思います。第3セクターの鳥海高原ユースパークの利用促進、それから、由利高原鉄道の乗車促進、あるいは、貸し切りバス事業の利用ということについては、この会社が矢島町に本社をもって事業展開をしているということから、一昨年も開催しましたが行政協力員の会議での活用ですとか、まちづくり協議会での活用とか、さまざまな働きかけを総合支所として、また今年、さらに強化をしていきたいというふうに考えております。これらについては地域の皆さんにお知らせをしながら活用についてお願いをしていこうと考えておりますので、宜しくお願いします。以上でございます。

【菅原賢一副会長】

はい、有り難うございました。佐藤総合支所長さんから第3セクター、ユースプラトー、由利高原鉄道について、こういうものを協議会の方も活用していきたいというような、お話でした。委員の方々、ご質問、ご審議、何かございませんか。よろしいですか。5時半までの予定で進めて参りましたが、若干、早く終わりました、皆様のご協力、本当に、有り難うございました。質疑等ないようですので、ここで協議会を終了したいと思います。宜しいでしょうか。はい有り難うございます。

4. 閉会

【菅原賢一副会長】

それでは、これをもちまして第5回矢島まちづくり協議会を閉会したいと思います。長時間、大変、ご苦勞様でした。有り難うございました。

第5回矢島まちづくり協議会【平成29年3月16日開催】出席者名簿

No	所 属	氏 名	備 考
1	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 久 美	会 長
2	矢島まちづくり協議会委員	菅 原 賢 一	副会長
3	矢島まちづくり協議会委員	土 田 秀 雄	
4	矢島まちづくり協議会委員	岸 田 康 明	
5	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 栄 一	
6	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 ま き 子	
7	矢島まちづくり協議会委員	畑 澤 農 富 和	
8	矢島まちづくり協議会委員	真 坂 民 子	
9	矢島まちづくり協議会委員	茂 木 美 寶 子	
10	矢島まちづくり協議会委員	伊 藤 典 子	
11	矢島まちづくり協議会委員	佐 藤 一 弘	
12	矢島まちづくり協議会委員	池 田 優 香	
13	矢島まちづくり協議会委員	三 浦 秀 人	
	矢島総合支所長	佐 藤 俊 一	
	振興課長	小 松 正	
	市民福祉課長	佐 々 木 正 人	
	産業課長	清 水 隆 司	
	建設課長	玉 米 定 之	
	教育学習課長	植 村 俊 一	
	振興課課長補佐	佐 藤 昌 司	
	振興課振興班長	木 内 華 奈	
	振興課振興班主席主査	佐 藤 陽 一	
	市民福祉課参事兼課長補佐	三 浦 浩 喜	
	産業課課長補佐	土 田 智 之	
	産業課商工観光班長	佐 藤 徳 和	
	教育学習課教育学習班長	佐 藤 の り 子	
	長寿支援課ねんりんピック運営班長	鈴 木 司	
	長寿支援課ねんりんピック運営班主査	齊 藤 祐 介	
	総合防災公園管理運営準備事務局長	袴 田 範 之	
	総合防災公園管理運営準備事務局主査	齊 藤 伸 明	
	保育園民営化・地域資源を活用した遊び推進事務局長	大 場 ひ ろ み	